

OECD における公立中学校教員の職業満足度

—法定給与水準を考慮した分析—

森田 玉雪 山本 公香

Junior High School Teachers' Job Satisfaction in OECD countries

— Contemplating Statutory Salaries in Each Country —

MORITA Tamaki YAMAMOTO Kimika

Abstract

This paper evaluates factors related to teachers' job satisfaction using the OECD Teaching and Learning International Survey (TALIS) conducted in 2013 and the country-wise statutory salaries adjusted for purchasing power parity in each country. Using quantile regression, we found that salary levels play a key role in determining teachers' job satisfaction, especially for those who report being satisfied with their job. Factors such as the ratio of time spent performing general administrative work, teacher-student relationships, opportunities to actively participate in school decisions, and teachers' personal belief that their roles as teachers are to facilitate students' own inquiries also affect satisfaction levels, albeit to different degrees among teachers. Gender, teaching experience, hours spent at school, and the proportion of time spent actually teaching seem to uniformly affect all teachers, regardless of the level of job satisfaction.

キーワード：教員満足度 国際教員指導環境調査 (TALIS)、法定給与水準、分位点回帰

Key words: Quantile regression, Statutory Salaries, Teachers' job satisfaction, Teaching and Learning International Survey (TALIS)

1. 問題の背景と研究の目的

前期中等教育段階（中学校及び中等教育学校前期課程、以下簡略化のため中学校と称する）の教員の労働環境について、OECD が 2008 年と 2013 年に国際教員指導環境調査（Teaching and Learning International Survey, TALIS）を実施し、日本は 2013 年の同調査に初めて参加した。これを受けて、森田・山本（2014）では 2013 年の TALIS 調査（以後 TALIS 2013 と称す）の結果をもとに全調査対象国における教員の満足度の決定要因を探り、かつ TALIS 2013 で特徴的となった長時間勤務が満足度に与える影響について韓国・

スウェーデン・米国・メキシコ・日本の国別の推計を行った。森田・山本（2014）は TALIS 2013 の全体像を概観して日本の特徴を見出すことを目的としていたが、TALIS 2013 の調査票には教員満足度に直接の影響を与えるであろう金銭的インセンティブの質問項目が存在しないという制約下での考察にとどまった。そこで、本研究では経済的要因として、OECD の統計から各国の中学校教員の法定初任給与と、待遇の改善余地、すなわち「法定最高給与と法定初任時給与の比」を国単位の説明変数として加えた上で OECD 全体の教員の満足度に関わる要因を探ることとした。

山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科

Department of Glocal Policy Administration, Faculty of Glocal Policy Management and Communications, Yamanashi Prefectural University

山本 公香：政策研究大学院大学 教育政策プログラム

Education Policy Program, National Graduate Institute for Policy Studies

2. 先行研究

TALIS 2013 の結果と概要は国立教育政策研究所 (2014) にまとめられており、日本の教員の労働時間が他の参加国に比べて際立って長いこと、日本の教員は主体的学びを引き出すことに自信が持てないことなどが指摘された。TALIS のデータを使用した海外の研究は多くはなく、2008 年の結果を使用してトルコの教育についての提言を示したもの¹⁾、2013 年のデータを使用してポルトガルの教員の指導実践や信念、また生徒評価を他のヨーロッパ参加国と比較したもの²⁾などがある。これらはいずれも各国の教育の特徴を捉えるため他国と比較した研究である。日本においては国立教育政策研究所の報告書を再検討し、日本の教師教育についての課題を提示したもの³⁾や、教員の信念や職能開発など個別の要因を分析したもの⁴⁾などがある。神林 (2015) は、森田・山本 (2014) と同様に TALIS 2013 のデータを使用して教員の勤務時間と満足度について分析しているが、マルチレベル分析を使用しているため、分析手法が異なる。金銭的インセンティブについては、Lin (2008) において教員の質と給与は明確な正の関係があるとされており、Gilpin (2012) においても教員の能力と給与は正の相関を示すという結果が出ている。また、Akiba et al. (2012) においては、ベテラン教員への給与が高ければ生徒の成績も高い傾向があるという結果が出ている。上記のように、教員の質と給与に関する研究はそれなりに進んでいるが、教員の満足度と給与の関係を取り上げたものはあまりなく、教員の満足度の要因の一つとして給与に触れられている程度である。ただしそれも、教員は生徒との関わりや仕事の満足度が教員を辞めない要因であり給与は影響を与えていないという結果であったり (Perrachione et al., 2008)、教員の一番の関心事は収入と福利厚生であるという結果であったり (Wequi, 2008) と、金銭的インセンティブが教員の満足度に与える影響についてはコンセンサスが得られているとは言い難い状況である。

3. 分析手法とデータ

3.1. 分析手法

本稿では、対象国における教員 I の満足度を効用 U_i として、

$$U_i = f(x_{1i}, x_{2i}, x_{3i}, x_{4i}, x_{5j})$$

ただし、 x_{1i} = 教員の勤務時間、 x_{2i} = 学校環境、 x_{3i} = 教員の志向、 x_{4i} = その他の教員属性、 x_{5j} = j 国の法定給与、 $i=1, \dots, n$ は教員個人を、 $j=1, \dots, m$ は各教員が属する国を表す

と設定し、(1) 式のように定式化する。

$$U_i = \alpha_i + \beta_1 x_{1i} + \beta_2 x_{2i} + \beta_3 x_{3i} + \beta_4 x_{4i} + \beta_5 x_{5j} + \varepsilon_i \quad (1)$$

ただし、 α_i は x によって説明できない個別の要因、 ε_i は誤差項。

さらに、不満および満足の決め手となる要因を満足度の分位階級別に比較する。

3.2. データ

説明変数は TALIS 2013 および OECD (2014a) から得ており、対象国は両データを揃えられる OECD の 22 ヶ国である (対象国の国別記述統計量を付表 1 に示す)。教員のサンプル数は国別の教員の人数比で得たいところであるが、TALIS で国別の分析を行う際の最低サンプル数が各国の教員数とは比例していないため、各国のサンプルの上限を 2,500 とするランダム抽出を行い、サンプルサイズの影響を軽減した。

被説明変数には、森田・山本 (2014) と同様に以下に説明する満足度指数を利用する。

TALIS 2013 の教員向け質問紙中の「仕事全般に対してどのように感じているか」というセクションに、「A: 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い、B: もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい、C: 可能なら、別の学校に異動したい、D: 教員になったことを後悔している、E: 現在の学校での仕事を楽しんでいる、F: 他の職業を選択した方が良かったのではないかと思っている、G: 自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる、H: 教職は社会的に高く評価されていると思う、I: 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している」

の小項目と、総合的な主観的満足度である「J: 全体としてみれば、この仕事に満足している」があり、いずれも回答者に「1: まったく当てはまらない」～「4: 非常に良く当てはまる」の4段階の選択をさせている。設問Jは4段階の項目であり、それだけで総合満足度を計測するには粗すぎる。そこで、A～Hの9つの小項目から主成分分析を用いて1つの満足度指標を作成する。

主成分分析とは z を主成分とし、 x を観測される変数であるとするとき、

$$Z_k = a_{k1}X_1 + a_{k2}X_2$$

における主成分 z の分散が最大になるように主成

分負荷量 a （ただし a_{k1} と a_{k2} の二乗和は1）を求めるものである。本研究に用いるデータのみで回転のない主成分分析を行った結果、表1の成分行列が求められた。表1の第一主成分は教員としての総合的満足度の強さ、第二主成分は現在勤めている学校への満足度もしくは職業として教員をしていることへの満足度という要素を示している（第二主成分が正であるC、E、G、Iは現在勤めている職場に対する設問であり、負であるA、B、D、F、H⁷⁾は教員という職業そのものに対する設問である）。横軸を第一主成分、縦軸を第二主成分としてプロットしたのが図1である。

表1 満足度小項目についての主成分分析による成分行列

	主成分	
	第一	第二
B. もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい	0.760	-0.363
E. 現在の学校での仕事を楽しんでいる	0.751	0.414
F. 他の職業を選択した方が良かったのではないかと考えている（反転）	0.716	-0.396
D. 教員になったことを後悔している（反転）	0.713	-0.338
G. 自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる	0.686	0.504
A. 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い	0.670	-0.280
C. 可能なら、別の学校に異動したい（反転）	0.568	0.516
I. 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	0.503	0.293
H. 教職は社会的に高く評価されていると思う	0.353	-0.309

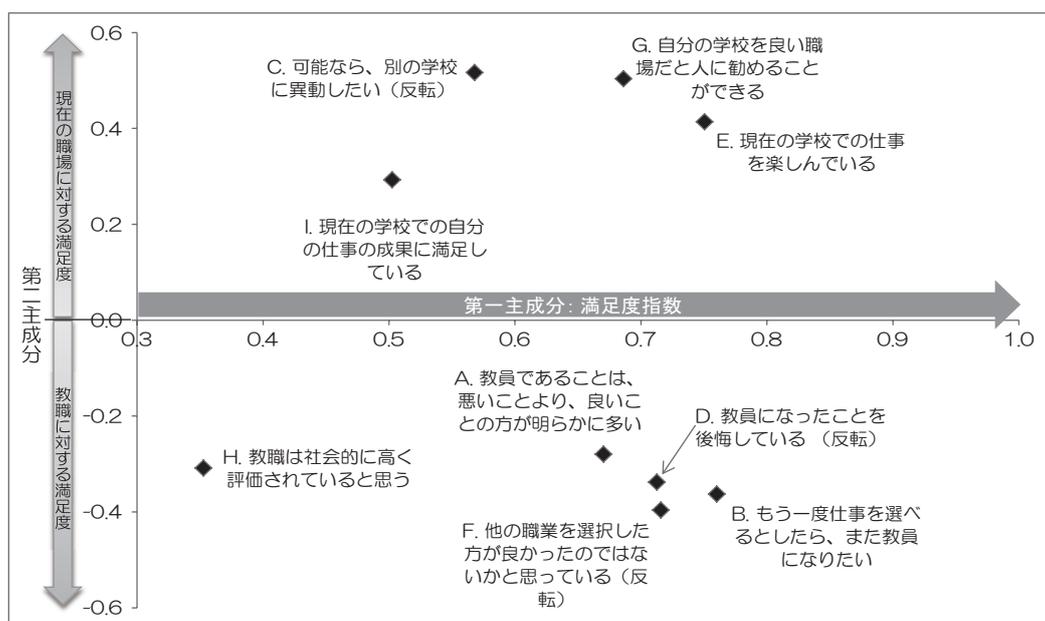


図1 満足度小項目についての成分行列のプロット

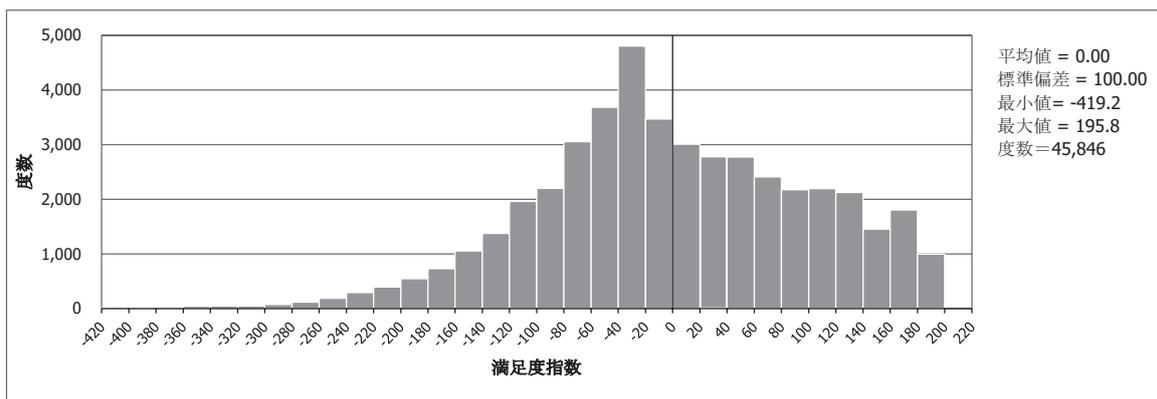


図2 対象国全体における満足度指数の分布

資料：TALIS 2013 より筆者らが作成。

本研究では、各回答者が満足度を表す第一主成分にどのくらい関係しているかを示す、第一主成分の成分得点を総合的満足度の指数(満足度指数)として採用する⁸⁾。対象 22 か国全体の満足度指数の分布は図2の通りである。

説明変数には、まず TALIS 2013 の設問から、参加国に共通して満足度との相関が高い項目を選択した。勤務時間要因として、学校における一週間の総仕事時間数、および、そのうち授業・採点・学校運営参画・一般事務業務のそれぞれに充てた時間数の比率を用いる。学校環境要因としては、学校の雰囲気のうち、教職員が意思決定に参加できること、生徒と教員の関係が良好であることが選ばれた。教員の志向としては、生徒自身の探究を重視する信念を持っていることが挙げられた。TALIS 2013 以外の資料からは、OECD が発表する国別の法定給与⁹⁾ から、中学校教員の初任給与と、

教員を続けることに対するインセンティブの大きさを図るべく最高給与と初任給与の比率の2変数を利用した。記述統計量は表2の通りである。

4. 分析結果

全体の推計結果を4.1で、分位点回帰によって満足度の四分位で推計した結果を4.2で示す。

4.1. 全体の推計

はじめに前述(1)式に基づき全教員を対象に推計したOLSとTobitの結果を表3に示す。左列のOLSから求めた標準化係数は100倍し、値の大きさ順に図3に示した。満足度指数はもともと4段階の指数の合成変数であるため上限と下限があることから、右列ではTobitを行い、頑健性を高めるためにブートストラップ法を用いた。どちらのモデルでも国ダミーは非有意であったため加

表2 全体の記述統計量

変数名	平均	標準偏差	最小値	最大値
被説明変数				
満足度指数	0.0000	100.0000	-419.1630	195.7700
説明変数				
個人属性				
男性ダミー	0.3232	0.4677	0	1
経験年数	16.4150	10.4429	0	57
現在の雇用形態—常勤	0.8222	0.3824	0	1
勤務時間				
学校での総仕事時間	38.9013	15.8582	0	112
授業時間比率	0.4620	0.1569	0.0000	1.0000
採点時間比率	0.1046	0.0779	0.0000	0.9818
学校運営参画時間比率	0.0252	0.0627	0.0000	0.8889
一般事務業務時間比率	0.0582	0.0579	0.0000	1.0000
学校環境				
雰囲気—教職員意思決定参加	2.7707	0.7052	1	4
雰囲気—生徒と教員の関係良好	3.2169	0.5245	1	4
教員の志向				
信念—生徒自身の探究重視	3.2895	0.6051	1	4
国の法定給与				
初任給(購買力平価調整値、対数)	10.1361	0.4110	9.2727	10.6949
最高給/初任給	1.8055	0.4945	1.1584	3.3465

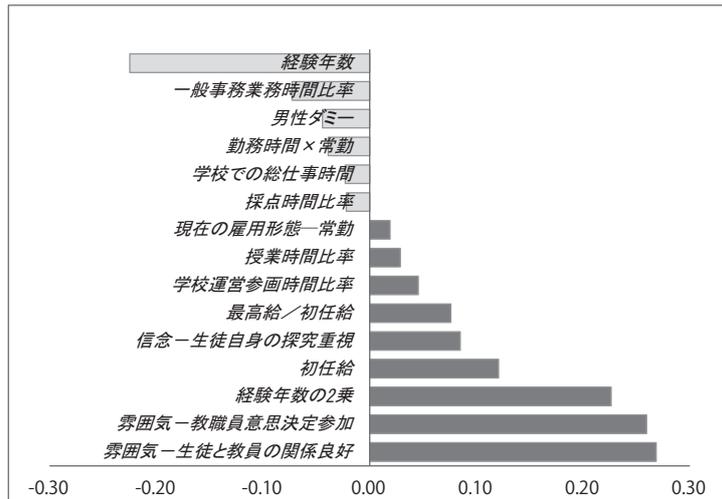


図3 全体のOLSから求めた標準化係数

表3 全体の推計結果

従属変数 満足度指数	OLS				Tobit				
	係数	標準偏差	t値	標準化係数×100	係数	ブートストラップ標準偏差	z値	バイアス修正済95%信頼区間	
男性ダミー	-9.478	0.904	-10.48 ***	-4.433	-9.432	0.961	-9.81 ***	-11.344	-7.625
経験年数	-2.151	0.143	-15.00 ***	-22.466	-2.173	0.140	-15.52 ***	-2.452	-1.902
経験年数の2乗	0.055	0.004	15.14 ***	22.622	0.056	0.004	15.69 ***	0.049	0.063
学校での総仕事時間	-0.144	0.067	-2.15 **	-2.288	-0.144	0.066	-2.19 **	-0.288	-0.022
現在の雇用形態—常勤	4.972	2.546	1.95 *	1.901	5.196	2.554	2.03 **	0.265	10.397
総仕事時間×常勤	-0.186	0.073	-2.55 **	-3.897	-0.190	0.073	-2.60 ***	-0.328	-0.041
授業時間比率	18.237	3.347	5.45 ***	2.862	18.110	3.344	5.42 ***	11.755	24.619
採点時間比率	-28.161	5.863	-4.80 ***	-2.194	-28.784	5.836	-4.93 ***	-40.539	-18.115
学校運営参画時間比率	72.519	7.333	9.89 ***	4.549	72.248	7.077	10.21 ***	58.753	87.444
一般事務業務時間比率	-125.532	7.953	-15.78 ***	-7.272	-125.964	8.504	-14.81 ***	-141.814	-108.514
雰囲気—教職員意思決定参加	36.793	0.608	60.48 ***	25.946	37.055	0.704	52.64 ***	35.619	38.369
雰囲気—生徒と教員の関係良好	51.158	0.822	62.22 ***	26.831	51.597	0.901	57.25 ***	49.509	53.257
信念—生徒自身の探究重視	14.030	0.689	20.36 ***	8.489	14.205	0.730	19.46 ***	12.801	15.629
初任給	29.386	1.049	28.03 ***	12.076	29.497	0.980	30.11 ***	27.603	31.378
最高給／初任給	15.386	0.862	17.84 ***	7.608	15.846	0.909	17.43 ***	13.974	17.566
定数項	-613.030	11.483	-53.39 ***	-	-617.194	10.499	-58.79 ***	-637.447	-595.791
/sigma					88.804	0.315		88.243	89.452
標本数		45486				45486			
		Adj R-squared = 0.2202				Log likelihood = -269267.27		Pseudo R2 = 0	
		F(15, 45830) = 864.02	Prob > F = 0.0000			Bootstrap replications = 1000			
						Wald chi2(15) = 11777.79	Prob > chi2 = 0.0000		
赤池情報量基準		540976				538569			

注：***は1%、**は5%、*は10%水準で有意であることを示す。

えていない。

これらの結果から分かることは、教員の満足度に最も影響力が高いのは学校の雰囲気であり、「生徒と教員の関係が良好である」ことおよび「教員が意思決定に参加できること」のいずれの要因も大きいということである。経験年数の影響は、Tobitによれば満足度が{-2.173+0.11×経験年数}ずつ変化するため、当初は年を経るたびに満足度が下がるもののその下がり方は徐々に小さくなり、19.5年¹⁰⁾を超えると増加に転じることになる。

当初の予想通り、初任給（対数）ならびに最高

給与と初任給の比率も満足度の大きさと関わっていることが示された。その2者の間にある、生徒自身の探究を重視するという教員個人の信念も、満足度の高さに関連している。使命感が満足度に影響している可能性がうかがえる。

森田・山本（2014）で指摘した教員の勤務時間の長さは、OECD22ヶ国全体でも負の要素となっている。勤務形態が常勤である場合と非常勤である場合では平均勤務時間が異なるため、ここでは、常勤と勤務時間の交差項をとり、各々の効果を判別できるようにした。その結果、常勤者も非常勤

者も共に勤務時間の長さが満足度を下げており、勤務時間を除いたときに常勤の方が満足度が高いことがわかった。また、勤務時間の内訳としては、学校運営への参画と授業時間の比率は満足度を高めるが、採点時間と一般事務の時間の比率は満足度を低める要因となっている。

4.2. 分位点回帰推計

次に、満足度の分位点で推計した結果を表4に示す(分位階級別の記述統計量は付表2を参照)。男女差、常勤か否か、勤務時間、授業時間の比率、採点時間の比率、学校運営業務への参画時間の比率という要因の影響については、分位による差がみられなかった。第3四分位の満足な教員と第1

四分位の不満な教員の差¹⁾は、不満な教員に対して満足な教員の方が、一般的事務業務に対する不満が少なく、意思決定に参加する機会への満足感が低く、生徒と良好な関係にあることへの満足感が高く、生徒自身の探求を促す役割への使命感が高く、国の法定初任給が高く、初任給に対する最高給与の割合が高いことが示された。

第2四分位の満足・不満のどちらでもない教員と第1四分位の不満な教員の差は、どちらでもない教員の方が、一般的事務業務に対する不満が少なく(有意水準10%)、意思決定に参加する機会への満足感が低く、生徒と良好な関係にあることへの満足感が高く、生徒自身の探求を促す役割への使命感が高く、法定初任給と初任給に対する最

表4 分位点回帰推計の結果

	第1四分位 (q25)		第2四分位 (q50)		第3四分位 (q75)		各分位の係数の差		
	不満		どちらでもない		満足		q50- q25	q75- q50	q75- q25
	係数 (標準偏差)	95%CI 下限 95%CI 上限	係数 (標準偏差)	95%CI 下限 95%CI 上限	係数 (標準偏差)	95%CI 下限 95%CI 上限			
男性ダミー	-10.262 *** (1.152)	-12.520 -8.004	-9.921 *** (1.092)	-12.062 -7.780	-9.545 *** (1.318)	-12.128 -6.961			
経験年数	-2.118 *** (0.180)	-2.471 -1.764	-2.286 *** (0.180)	-2.638 -1.934	-2.514 *** (0.212)	-2.930 -2.097			
経験年数の2乗	0.056 *** (0.005)	0.046 0.065	0.058 *** (0.005)	0.049 0.067	0.064 *** (0.005)	0.054 0.075			
学校での総仕事時間	-0.189 * (0.097)	-0.379 0.001	-0.133 (0.085)	-0.299 0.033	-0.096 (0.092)	-0.276 0.085			
現在の雇用形態—常勤	5.987 * (3.350)	-0.579 12.553	5.378 * (3.212)	-0.916 11.673	7.853 ** (3.408)	1.173 14.533			
総仕事時間×常勤	-0.197 * (0.104)	-0.401 0.007	-0.202 ** (0.093)	-0.383 -0.021	-0.193 * (0.101)	-0.391 0.005			
授業時間比率	18.960 *** (4.274)	10.584 27.336	17.916 *** (4.166)	9.750 26.081	18.324 *** (4.840)	8.837 27.812			
採点時間比率	-28.144 *** (7.812)	-43.455 -12.833	-22.435 *** (7.060)	-36.274 -8.596	-24.395 *** (8.444)	-40.945 -7.846			
学校運営参画時間比率	63.161 *** (9.990)	43.579 82.742	75.304 *** (10.064)	55.577 95.030	73.697 *** (9.758)	54.572 92.822			
一般事務業務時間比率	-143.800 *** (10.521)	-164.422 -123.177	-126.706 *** (10.340)	-146.972 -106.439	-100.642 *** (12.590)	-125.319 -75.965	+	++	+++
雰囲気—教職員意思決定参加	40.964 *** (0.978)	39.046 42.882	36.754 *** (0.779)	35.227 38.282	34.236 *** (0.850)	32.570 35.902	---	---	---
雰囲気—生徒と教員の関係良好	48.147 *** (1.235)	45.726 50.568	59.844 *** (1.134)	57.621 62.067	58.013 *** (1.184)	55.692 60.335	+++	-	+++
信念—生徒自身の探究重視	12.026 *** (0.985)	10.095 13.958	16.647 *** (0.811)	15.058 18.237	17.870 *** (1.020)	15.871 19.870	+++		+++
初任給 (対数)	24.009 *** (1.257)	21.545 26.473	30.732 *** (1.080)	28.616 32.849	42.392 *** (1.495)	39.461 45.323	+++	+++	+++
最高給/初任給	9.918 *** (1.177)	7.610 12.226	17.165 *** (1.170)	14.872 19.458	23.972 *** (1.161)	21.697 26.247	+++	+++	+++
定数項	-599.452 *** (14.299)	-627.477 -571.426	-665.241 *** (11.645)	-688.066 -642.417	-729.319 *** (16.030)	-760.738 -697.900	--	--	--

注1: *** は1%、** は5%、* は10% 水準で有意であることを示す。

注2: +++, --- は分位ごとの係数の差が1%、++, -- は5%、+, - は10% 水準で有意であることを示す。

高給与の割合が共に高かった。第3四分位の満足な教員と第2四分位の満足・不満のどちらでもない教員との差は、満足な教員の方が一般的事務業務に対する不満が少なく（有意水準5%）、意思決定に参加する機会への満足感が高く（有意水準10%）、生徒自身の探求を促す役割への使命感が高く、法定初任給と初任給に対する最高給与の割合が共に高い。

以上のことから特筆されるのは、満足度への寄与が大きい「学校の雰囲気」の要因のなかでも、不満な教員は意思決定への参加から満足を得ており、どちらでもない以上に満足な教員は、教員と生徒の関係の良好さや自分自身の教育への信念から満足を得ていることである。また、初任給が1%上がることによる満足度の上昇幅と、給与の上昇余地は、満足度が高いほど高まる傾向にある。

5. まとめと課題

本稿では森田・山本（2014）において課題としていた、給与という金銭的インセンティブの問題と、国別ではなく満足度の階層別に満足度を与える影響を、TALIS 2013のデータに別の統計資料を補う形で新たに分析した。結果として満足度の高い教員は「学校の雰囲気」、生徒との関係の良好さや自分自身の教育への信念などからより多くの満足を得ており、生徒自身の探求を促す役割への使命感が高いことが確認された。

また、初任給が1%上がることによる満足度の上昇幅と、給与の上昇余地は、満足度が高いほど高まる傾向にあることから、国別給与と教員個人の満足度の間に相関があることがわかった。換言すれば、生徒と良好な関係を築き、信念を持ち、使命感の高い教員は、給与から得られる満足度も高いということもできよう。

教育は教員の確保、配置、資質向上に負うところが大きく¹²⁾、質の良い教育を行うためにはこれらの条件を整える必要がある。TALIS 2013は教員および管理職に対する調査により、各国がこれらの条件を整えていくための政策立案の一助となるために実施されたものである¹³⁾。これまでのTALISの質問項目に金銭的インセンティブが含ま

れていないが、本稿の結果から、仮に含まれたとすれば教員の満足度が金銭的インセンティブに反応するであろうことが見込まれる。また、先行研究に示された、教員の質と給与、教員給与と生徒の成績の間に正の関係があることを考慮に入れると、質の良い教育には金銭的インセンティブは必要なものであると考える。

今回は経済的要因としてOECDの統計から各国の中学校教員の法定初任給と、「法定最高給与と法定初任時給与の比」を国単位の説明変数として加えたが、TALISそのもののデータが統計学的に未完成であること、給与の個人差を追えないことなど、計量的には問題が残ることも確かである。これらの問題を取り除き、より精緻に研究を重ねるには、TALISないし同種の調査の精度をいっそう高めた上で、金銭的インセンティブについての質問項目を加えるべきであることを、今後の課題として提起しておきたい。

注

- 1) Betul and Pehlivan (2013)
- 2) Betina et al. (2015)、Albergaria-Almeida et al. (2015)
- 3) 斎藤（2014）
- 4) 布川（2013）、宮田（2013）など
- 5) OECD (2014b)
- 6) 主成分分析の詳細については内田（2013）などを参照されたい。
- 7) 小項目H（教職は社会的に高く評価されていると思う）には、個人の感覚だけでなく国ごとの教員の社会的地位（status）の高さが影響を及ぼしている可能性が高い。教員の社会的地位の適切な指標があれば、満足度の決定要因の推計においてコントロール変数として投入することが望ましいであろう。教員の社会的地位に関する包括的調査としてVarkey Foundationの*Global Teacher Status Index* (Dolton et al., 2013)があるが、調査機関、対象国、調査手法などの違いから今回の推計に用いることのできる適切な指標ではないと判断したため、今回は利用していない。なお、各国別の教員の社会的地位に関する研究としてはHargreaves (2009)、Fwu (2002)などがある。
- 8) 全体の満足度を聞いた設問Jの回答グループ（1～4）ごとに満足度指数の平均値を比較すると、 $1 < 2 < 3 < 4$ となる統計的有意差が確認されており、満足度指数は設問Jとも整合的である。
- 9) 購買力平価調整済みのOECD（2014a）の法定給与を

用した。

- 10) 95%信頼区間は 18.7 年～20.2 年である。
- 11) 以下の記述において、特に記載がない場合には有意水準 1%での差があることを示す。
- 12) OECD (2014b) p.28
- 13) 同上、p.28

参考文献

- Akiba, Motoko, Yu-Lun Chiu, Kazuhiko Shimizu and Guodong Liang (2012) Teacher salary and national achievement: A cross-national analysis of 30 countries, *International Journal of Educational Research*, vol.53, pp.171-181.
- Albergaria-Almeida, Patrícia, Betina da Silva Lopesa, Mariana Martinho (2015) Student Assessment Strategies in Portugal: An Analysis of TALIS 2013, *Procedia-Social and Behavioral Science*, 5th World Conference on Learning, Teaching and Educational Leadership
- Betina da Silva Lopesa, Patrícia Albergaria-Almeida, and Mariana Martinho (2015) Learning and Teaching in Portugal: An Analysis of TALIS 2013, *Procedia-Social and Behavioral Science*, 5th World Conference on Learning, Teaching and Educational Leadership
- Betul Alatli, Emin Burcu Pehlivan (2013) Classification of Countries Participated in TALIS, *Procedia-Social and Behavioral Science*, 5th World Conference on Educational and Science
- Dolton, Peter, Oscar Marcenaro-Gutierrez, Vikas Pota, Marc Boxser, Ash Pajpani (2013) *Global Teacher Status Index 2013*, Varkey Foundation
- Fwu, Bih-jen and Hsiou-huai Wang (2002) The Social Status of Teachers in Taiwan, *Comparative Education*, Volume 38 No.2, pp.211-224.
- Gilpin, Gregory A. (2012) Teacher salaries and teacher aptitude: An analysis using quantile regressions, *Economics of Education Review*, Vol.31, pp.15-29.
- Hargreaves, Linda, (2009) The Status and Prestige of Teachers and Teaching, *International Handbook of Research on Teachers and Teaching*, Volume 21, pp. 217-229
- Lin, Tin-chun (2009) Teacher quality and teacher salaries: the case of Pennsylvania, *Economics Bulletin*, Vol. 29 no.3, pp.2136-2144.
- OECD (2014a) *Education at a Glance 2014 OECD Indicators*, OECD Publishing, Paris, France
- OECD (2014b) *New Insights from TALIS 2013 Teaching and Learning in Primary and Upper Secondary Education*, OECD Publishing, Paris, France
- Perrachione, Beverly A., Vicki J. Rosser and George J. Peterson (2008) Why Do They Stay? Elementary Teachers' Perceptions of Job Satisfaction and Retention,

The Professional Educator, Vol.32, No.2, pp.15-29.

- Weiqui, Chen (2007) The Structure of Secondary School Teacher Job Satisfaction and Its Relationship with Attrition and Work Enthusiasm, *Chinese Education and Society*, vol. 40, no. 5, pp. 17-31.
- 内田 治 (2013)『主成分分析の基本と活用』日科技連出版社
- 国立教育政策研究所 (2014)『教員環境の国際比較 OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) 2013 年調査結果報告書』明石書店
- 斎藤里美 (2014)「OECD 国際教員指導環境調査からみる教師教育研究の課題 -TALIS2013 の調査結果を中心に-」『東洋大学文学部紀要. 教育学科編』pp.51-60.
- 布川あゆみ (2013)「TALIS 調査で測定された授業実践：各国の傾向と教員の信念との関連性から考察する (特集 TALIS 国際教員指導環境調査とは)」『Synapse : 教員を育て磨く専門誌』vol.19、pp.18-21.
- 宮田 緑 (2013)「専門性の開発と協働における中堅教員の重要性：教員の専門性開発の調査結果の考察 (特集 TALIS 国際教員指導環境調査とは)」『Synapse : 教員を育て磨く専門誌』vol.19、pp.22-25.

付表1 国別の記述統計量

変数名	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	
オーストラリア											
満足度指数	1,528	25.876	100.417	-370.7382	195.7697	ベルギー (フランドル地方)					
男性ダミー	1,528	0.412	0.492	0	1	2,438	35.279	97.536	-395.1481	195.7697	
経過年数	1,528	16.387	11.058	0	45	2,438	0.328	0.470	0	1	
現在の雇用形態 - 常勤	1,528	0.838	0.368	0	1	2,438	14.382	10.469	0	42	
学校での総仕事時間	1,528	43.014	15.894	0	91	2,438	0.763	0.425	0	1	
授業時間比率	1,528	0.411	0.160	0	1	2,438	37.201	12.245	0	96	
採点時間比率	1,528	0.102	0.080	0	0.7258065	2,438	0.507	0.142	0	1	
学校運営参画時間比率	1,528	0.045	0.081	0	0.7291667	2,438	0.108	0.071	0	0.9818182	
一般事務業務時間比率	1,528	0.082	0.070	0	0.7317073	2,438	0.019	0.041	0	0.546875	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	1,528	2.610	0.744	1	4	2,438	2.842	0.682	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	1,528	3.342	0.544	1	4	2,438	3.250	0.520	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	1,528	3.293	0.607	1	4	2,438	3.556	0.515	1	4	
初任給 (対数)	1,528	10.526	0.000	10.52565	10.52565	2,438	10.424	0.000	10.42427	10.42427	
最高給/初任給	1,528	1.486	0.000	1.48637	1.48637	2,438	1.733	0.000	1.73286	1.73286	
チリ											
満足度指数	893	14.538	103.384	-397.4106	195.7697	チエコ共和国					
男性ダミー	893	0.382	0.486	0	1	2,500	-20.052	84.489	-350.728	195.7697	
経過年数	893	14.579	11.522	0	54	2,500	0.245	0.430	0	1	
現在の雇用形態 - 常勤	893	0.674	0.469	0	1	2,500	17.236	10.983	0	54	
学校での総仕事時間	893	29.894	20.451	0	95	2,500	0.808	0.394	0	1	
授業時間比率	893	0.528	0.183	0	0.9268293	2,500	39.664	13.669	1	96	
採点時間比率	893	0.082	0.061	0	0.5	2,500	0.443	0.131	0	1	
学校運営参画時間比率	893	0.039	0.052	0	0.6	2,500	0.104	0.062	0	0.5	
一般事務業務時間比率	893	0.051	0.045	0	0.4032258	2,500	0.020	0.068	0	0.5714286	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	893	2.615	0.884	1	4	2,500	0.059	0.054	0	0.625	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	893	3.286	0.628	1	4	2,500	2.866	0.631	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	893	3.419	0.669	1	4	2,500	3.138	0.453	1	4	
初任給 (対数)	893	9.785	0.000	9.785256	9.785256	2,500	9.747	0.000	9.747079	9.747079	
最高給/初任給	893	2.173	0.000	2.172851	2.172851	2,500	1.283	0.000	1.283365	1.283365	
デンマーク											
満足度指数	1,201	34.319	94.668	-283.054	195.7697	イングランド					
男性ダミー	1,201	0.420	0.494	0	1	1,877	-0.192	109.059	-373.5396	195.7697	
経過年数	1,201	15.742	11.030	0	44	1,877	0.367	0.482	0	1	
現在の雇用形態 - 常勤	1,201	0.904	0.294	0	1	1,877	12.306	9.257	0	42	
学校での総仕事時間	1,201	40.571	9.498	0	87	1,877	0.871	0.335	0	1	
授業時間比率	1,201	0.457	0.132	0	1	1,877	46.661	15.086	2	91	
採点時間比率	1,201	0.079	0.060	0	0.3773585	1,877	0.416	0.135	0	1	
学校運営参画時間比率	1,201	0.016	0.056	0	0.7407407	1,877	0.125	0.074	0	0.6	
一般事務業務時間比率	1,201	0.045	0.049	0	0.7	1,877	0.036	0.073	0	0.8695652	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	1,201	2.849	0.695	1	4	1,877	0.074	0.057	0	0.516129	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	1,201	3.580	0.507	1	4	1,877	2.541	0.782	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	1,201	3.486	0.546	1	4	1,877	3.359	0.545	1	4	
初任給 (対数)	1,201	10.695	0.000	10.69492	10.69492	1,877	10.251	0.000	10.25137	10.25137	
最高給/初任給	1,201	1.158	0.000	1.15841	1.15841	1,877	1.703	0.000	1.702613	1.702613	

変数名	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	
スベイン											
満足度指数	2,500	19.001	94.533	-419.1628	195.7697	2,456	-32.871	85.691	-419.1628	195.7697	
男性ダミー	2,500	0.406	0.491	0	1	2,456	0.162	0.368	0	1	
経過年数	2,500	17.670	9.463	0	44	2,456	21.297	11.783	0	56	
現在の雇用形態 - 常勤	2,500	0.885	0.319	0	1	2,456	0.637	0.481	0	1	
学校での総仕事時間	2,500	37.915	13.309	1	90	2,456	35.764	16.720	1	96	
授業時間比率	2,500	0.464	0.138	0	0.9302326	2,456	0.504	0.149	0	1	
採点時間比率	2,500	0.136	0.084	0	0.6578947	2,456	0.093	0.062	0	0.7317073	
学校運営参画時間比率	2,500	0.035	0.067	0	0.6818182	2,456	0.014	0.052	0	0.7428571	
一般事務業務時間比率	2,500	0.038	0.039	0	0.4166667	2,456	0.048	0.045	0	0.5797101	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	2,500	2.846	0.755	1	4	2,456	2.964	0.610	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	2,500	3.214	0.519	1	4	2,456	3.156	0.453	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	2,500	3.192	0.646	1	4	2,456	3.224	0.540	1	4	
初任給 (対数)	2,500	10.590	0.000	10.58976	10.58976	2,456	9.378	0.000	9.378235	9.378235	
最高給/初任給	2,500	1.446	0.000	1.445886	1.445886	2,456	1.462	0.000	1.461633	1.461633	
フランス											
満足度指数	2,099	32.637	93.618	-394.1273	195.7697	2,146	-11.620	101.983	-396.3512	195.7697	
男性ダミー	2,099	0.279	0.449	0	1	2,146	0.349	0.477	0	1	
経過年数	2,099	14.771	9.557	0	41	2,146	15.862	9.621	0	44	
現在の雇用形態 - 常勤	2,099	0.947	0.224	0	1	2,146	0.863	0.344	0	1	
学校での総仕事時間	2,099	31.621	12.150	1	75	2,146	36.684	11.407	2	95	
授業時間比率	2,099	0.607	0.159	0	1	2,146	0.495	0.118	0.0705882	1	
採点時間比率	2,099	0.078	0.074	0	0.5365854	2,146	0.135	0.084	0	0.5	
学校運営参画時間比率	2,099	0.007	0.037	0	0.7017544	2,146	0.016	0.032	0	0.6363636	
一般事務業務時間比率	2,099	0.030	0.035	0	0.3333333	2,146	0.029	0.030	0	0.3225806	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	2,099	2.828	0.650	1	4	2,146	2.785	0.675	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	2,099	3.216	0.494	1	4	2,146	3.151	0.540	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	2,099	3.327	0.545	1	4	2,146	3.237	0.623	1	4	
初任給 (対数)	2,099	10.455	0.000	10.45508	10.45508	2,146	10.286	0.000	10.28601	10.28601	
最高給/初任給	2,099	1.301	0.000	1.300591	1.300591	2,146	2.276	0.000	2.276205	2.276205	
イタリア											
満足度指数	2,500	29.216	101.013	-395.1481	195.7697	2,500	3.258	87.674	-392.4221	195.7697	
男性ダミー	2,500	0.240	0.427	0	1	2,500	0.208	0.406	0	1	
経過年数	2,500	15.582	10.167	0	50	2,500	19.336	10.701	0	57	
現在の雇用形態 - 常勤	2,500	0.772	0.420	0	1	2,500	0.885	0.319	0	1	
学校での総仕事時間	2,500	33.280	18.262	0	95	2,500	29.763	12.128	0	96	
授業時間比率	2,500	0.457	0.170	0	1	2,500	0.522	0.145	0	1	
採点時間比率	2,500	0.098	0.076	0	0.6790123	2,500	0.110	0.083	0	0.6521739	
学校運営参画時間比率	2,500	0.039	0.070	0	0.754717	2,500	0.021	0.046	0	0.6086957	
一般事務業務時間比率	2,500	0.041	0.045	0	0.6521739	2,500	0.046	0.036	0	0.4444444	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	2,500	2.692	0.775	1	4	2,500	2.752	0.640	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	2,500	3.202	0.549	1	4	2,500	3.033	0.467	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	2,500	3.420	0.603	1	4	2,500	3.186	0.621	1	4	
初任給 (対数)	2,500	9.893	0.000	9.892908	9.892908	2,500	10.307	0.000	10.30743	10.30743	
最高給/初任給	2,500	2.401	0.000	2.400622	2.400622	2,500	1.498	0.000	1.49769	1.49769	

変数名	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	
日本											
満足度指数	2,468	-44.612	99.177	-377.849	195.7697	2,160	-40.200	104.571	-419.1628	195.7697	
男性ダミー	2,468	0.617	0.486	0	1	2,160	0.288	0.453	0	1	
経過年数	2,468	17.190	11.021	0	53	2,160	16.108	9.838	0	39	
現在の雇用形態 - 常勤	2,468	0.953	0.211	0	1	2,160	0.989	0.105	0	1	
学校での総仕事時間	2,468	54.280	17.902	0	96	2,160	37.607	17.077	1	96	
授業時間比率	2,468	0.340	0.136	0	1	2,160	0.409	0.148	0	1	
採点時間比率	2,468	0.079	0.063	0	0.7966102	2,160	0.069	0.055	0	0.6090909	
学校運営参画時間比率	2,468	0.047	0.072	0	0.8679245	2,160	0.036	0.044	0	0.4285714	
一般事務業務時間比率	2,468	0.088	0.086	0	0.8441558	2,160	0.104	0.080	0	0.5833333	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	2,468	2.786	0.612	1	4	2,160	2.624	0.735	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	2,468	3.109	0.455	1	4	2,160	3.143	0.496	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	2,468	3.173	0.532	1	4	2,160	3.447	0.560	1	4	
初任給 (対数)	2,468	10.206	0.000	10.20607	10.20607	2,160	10.257	0.000	10.25715	10.25715	
最高給 / 初任給	2,468	2.204	0.000	2.203543	2.203543	2,160	2.792	0.000	2.791799	2.791799	
メキシコ											
満足度指数	1,539	61.491	82.556	-327.7728	195.7697	1,480	21.678	92.667	-373.5396	195.7697	
男性ダミー	1,539	0.487	0.500	0	1	1,480	0.450	0.498	0	1	
経過年数	1,539	15.055	9.995	0	50	1,480	15.082	10.915	0	43	
現在の雇用形態 - 常勤	1,539	0.379	0.485	0	1	1,480	0.411	0.492	0	1	
学校での総仕事時間	1,539	33.251	19.064	0	96	1,480	35.982	12.426	0	80	
授業時間比率	1,539	0.516	0.189	0	1	1,480	0.451	0.142	0	1	
採点時間比率	1,539	0.088	0.066	0	0.7446809	1,480	0.106	0.080	0	0.5357143	
学校運営参画時間比率	1,539	0.021	0.051	0	0.7446809	1,480	0.022	0.075	0	0.8444444	
一般事務業務時間比率	1,539	0.038	0.056	0	0.7142857	1,480	0.054	0.038	0	0.3125	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	1,539	2.515	0.899	1	4	1,480	2.724	0.643	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	1,539	3.116	0.613	1	4	1,480	3.343	0.493	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	1,539	3.446	0.682	1	4	1,480	3.338	0.526	1	4	
初任給 (対数)	1,539	9.914	0.000	9.913731	9.913731	1,480	10.578	0.000	10.57767	10.57767	
最高給 / 初任給	1,539	3.347	0.000	3.346527	3.346527	1,480	1.734	0.000	1.734186	1.734186	
ノルウェー											
満足度指数	1,881	18.342	89.785	-283.7845	195.7697	2,500	-7.181	92.980	-419.1628	195.7697	
男性ダミー	1,881	0.393	0.489	0	1	2,500	0.240	0.427	0	1	
経過年数	1,881	14.156	10.917	0	53	2,500	16.730	8.987	0	47	
現在の雇用形態 - 常勤	1,881	0.812	0.391	0	1	2,500	0.836	0.371	0	1	
学校での総仕事時間	1,881	39.320	10.490	0	75	2,500	38.328	14.430	2	90	
授業時間比率	1,881	0.398	0.138	0	1	2,500	0.467	0.143	0	1	
採点時間比率	1,881	0.130	0.095	0	0.6666667	2,500	0.108	0.075	0	0.6666667	
学校運営参画時間比率	1,881	0.029	0.091	0	0.78125	2,500	0.017	0.059	0	0.6363636	
一般事務業務時間比率	1,881	0.068	0.063	0	0.6666667	2,500	0.056	0.046	0	0.5	
雰囲気 - 教職員意思決定参加	1,881	2.941	0.594	1	4	2,500	2.860	0.660	1	4	
雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	1,881	3.447	0.516	1	4	2,500	3.091	0.451	1	4	
信念 - 生徒自身の探究重視	1,881	3.297	0.596	1	4	2,500	3.189	0.563	1	4	
初任給 (対数)	1,881	10.448	0.000	10.44825	10.44825	2,500	9.459	0.000	9.45908	9.45908	
最高給 / 初任給	1,881	1.572	0.000	1.571727	1.571727	2,500	1.926	0.000	1.925541	1.925541	

変数名	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値	
ボルトガル											
満足度指数	2,500	-11.982	102.188	-419.1628	195.7697	2,500	-40.960	82.888	-396.3512	173.0142	
男性ダミー	2,500	0.260	0.439	0	1	2,500	0.180	0.384	0	1	
経験年数	2,500	19.018	7.253	0	40	2,500	17.441	11.209	0	54	
現在の雇用形態 - 常勤	2,500	0.938	0.240	0	1	2,500	0.876	0.329	0	1	
学校での総仕事時間	2,500	45.410	14.951	2	112	2,500	37.849	16.748	0	96	
授業時間比率	2,500	0.437	0.148	0	0.8857143	2,500	0.485	0.156	0	1	
採点時間比率	2,500	0.169	0.105	0	0.6593407	2,500	0.081	0.054	0	0.5172414	
学校運営参画時間比率	2,500	0.028	0.089	0	0.8888889	2,500	0.019	0.070	0	0.6818182	
一般事務業務時間比率	2,500	0.052	0.052	0	0.902439	2,500	0.058	0.049	0	0.75	
雰囲気・教職員意思決定参加	2,500	2.780	0.691	1	4	2,500	2.780	0.651	1	4	
雰囲気・生徒と教員の関係良好	2,500	3.293	0.508	1	4	2,500	3.058	0.489	1	4	
信念・生徒自身の探究重視	2,500	3.260	0.588	1	4	2,500	3.298	0.604	1	4	
初任給 (対数)	2,500	10.280	0.000	10.28025	10.28025	2,500	9.273	0.000	9.272739	9.272739	
最高給/初任給	2,500	1.857	0.000	1.85681	1.85681	2,500	1.663	0.000	1.663259	1.663259	
スイエーデン											
満足度指数	2,500	-28.317	103.726	-396.3512	195.7697	1,680	21.447	102.900	-345.5959	195.7697	
男性ダミー	2,500	0.330	0.470	0	1	1,680	0.328	0.470	0	1	
経験年数	2,500	16.106	10.375	0	45	1,680	13.664	9.535	0	47	
現在の雇用形態 - 常勤	2,500	0.796	0.403	0	1	1,680	0.969	0.173	0	1	
学校での総仕事時間	2,500	42.923	10.102	0	90	1,680	44.461	17.667	0	90	
授業時間比率	2,500	0.411	0.114	0	0.8709677	1,680	0.473	0.168	0	0.90625	
採点時間比率	2,500	0.105	0.070	0	0.5	1,680	0.080	0.058	0	0.5769231	
学校運営参画時間比率	2,500	0.016	0.040	0	0.8	1,680	0.022	0.044	0	0.6	
一般事務業務時間比率	2,500	0.098	0.068	0	0.8125	1,680	0.052	0.050	0	0.5633803	
雰囲気・教職員意思決定参加	2,500	2.780	0.686	1	4	1,680	2.695	0.765	1	4	
雰囲気・生徒と教員の関係良好	2,500	3.413	0.520	1	4	1,680	3.192	0.550	1	4	
信念・生徒自身の探究重視	2,500	3.050	0.698	1	4	1,680	3.320	0.587	1	4	
初任給 (対数)	2,500	10.349	0.000	10.34874	10.34874	1,680	10.519	0.000	10.5185	10.5185	
最高給/初任給	2,500	1.309	0.000	1.309275	1.309275	1,680	1.756	0.000	1.756331	1.756331	

付表2 分位階級別の記述統計量

分位階級	変数名	標本数	平均	標準偏差	最小値	最大値
第1四分位	満足度指数	11498	-126.8602	56.3872	-419.1628	-66.3523
	男性ダミー	11498	0.3369	0.4727	0	1
	経験年数	11498	16.5693	9.9528	0	54
	現在の雇用形態 - 常勤	11498	0.8390	0.3675	0	1
	学校での総仕事時間	11498	40.4898	16.2410	0	112
	授業時間比率	11498	0.4535	0.1509	0.0000	1.0000
	採点時間比率	11498	0.1083	0.0789	0.0000	0.9818
	学校運営参画時間比率	11498	0.0209	0.0532	0.0000	0.8696
	一般事務業務時間比率	11498	0.0650	0.0627	0.0000	1.0000
	雰囲気 - 教職員意思決定参加	11498	2.4736	0.7437	1	4
	雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	11498	3.0193	0.5098	1	4
	信念 - 生徒自身の探求重視	11498	3.2121	0.6006	1	4
	初任給 (対数)	11498	10.0749	0.4261	9.2727	10.6949
	最高給 / 初任給	11498	1.8053	0.4597	1.1584	3.3465
第2四分位	満足度指数	11426	-33.3342	16.4495	-66.2789	-8.1484
	男性ダミー	11426	0.3211	0.4669	0	1
	経験年数	11426	16.6878	10.3381	0	57
	現在の雇用形態 - 常勤	11426	0.8180	0.3858	0	1
	学校での総仕事時間	11426	38.2061	15.7478	0	98
	授業時間比率	11426	0.4657	0.1560	0.0000	1.0000
	採点時間比率	11426	0.1031	0.0780	0.0000	0.7966
	学校運営参画時間比率	11426	0.0229	0.0569	0.0000	0.8000
	一般事務業務時間比率	11426	0.0583	0.0565	0.0000	0.6667
	雰囲気 - 教職員意思決定参加	11426	2.7500	0.6197	1	4
	雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	11426	3.1248	0.4340	1	4
	信念 - 生徒自身の探求重視	11426	3.2127	0.5718	1	4
	初任給 (対数)	11426	10.0916	0.4345	9.2727	10.6949
	最高給 / 初任給	11426	1.7840	0.4684	1.1584	3.3465
第3四分位	満足度指数	11501	31.8641	23.5538	-8.1308	75.5395
	男性ダミー	11501	0.3081	0.4617	0	1
	経験年数	11501	16.2859	10.5658	0	55
	現在の雇用形態 - 常勤	11501	0.8185	0.3854	0	1
	学校での総仕事時間	11501	38.6406	15.7891	0	98
	授業時間比率	11501	0.4647	0.1559	0.0000	1.0000
	採点時間比率	11501	0.1047	0.0765	0.0000	0.6383
	学校運営参画時間比率	11501	0.0260	0.0653	0.0000	0.8000
	一般事務業務時間比率	11501	0.0558	0.0573	0.0000	0.8125
	雰囲気 - 教職員意思決定参加	11501	2.8191	0.6662	1	4
	雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	11501	3.2478	0.5030	1	4
	信念 - 生徒自身の探求重視	11501	3.3164	0.6050	1	4
	初任給 (対数)	11501	10.1592	0.4004	9.2727	10.6949
	最高給 / 初任給	11501	1.7959	0.4982	1.1584	3.3465
第4四分位	満足度指数	11421	128.9769	33.7631	75.5820	195.7697
	男性ダミー	11421	0.3266	0.4690	0	1
	経験年数	11421	16.1166	10.8866	0	55
	現在の雇用形態 - 常勤	11421	0.8131	0.3899	0	1
	学校での総仕事時間	11421	38.2600	15.5361	0	99
	授業時間比率	11421	0.4643	0.1643	0.0000	1.0000
	採点時間比率	11421	0.1023	0.0780	0.0000	0.7258
	学校運営参画時間比率	11421	0.0311	0.0732	0.0000	0.8889
	一般事務業務時間比率	11421	0.0535	0.0543	0.0000	0.7317
	雰囲気 - 教職員意思決定参加	11421	3.0417	0.6658	1	4
	雰囲気 - 生徒と教員の関係良好	11421	3.4770	0.5319	1	4
	信念 - 生徒自身の探求重視	11421	3.4172	0.6180	1	4
	初任給 (対数)	11421	10.2191	0.3628	9.2727	10.6949
	最高給 / 初任給	11421	1.8370	0.5458	1.1584	3.3465